

福祉文教常任委員会所管事務調査報告書

令和8年6月24日

別海町議会議長 西 原 浩 様

福祉文教常任委員会 外 山 浩 司

福祉文教常任委員会における所管事務調査に係る福祉文教常任委員会協議会の協議結果について、次のとおり報告します。

記

1 開催日時

(1) 第7回常任委員会

令和8年6月22日（月）10時から15時40分まで

(2) 第8回常任委員会協議会

令和8年6月22日（月）11時20分から12時、15時40分から15時50分まで

2 開催場所

委員会室4

3 出席委員

外山委員長、横田副委員長、中村委員、田村委員、貞宗委員、伊勢委員、吉田委員

4 欠席議員

なし

5 委員外

西原議長

6 調査事件及び協議結果

(1) 提出議案調査について「別海町介護サービス使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について」（福祉部）

ア 調査結果

- ・特になし

(2) こども誰でも通園制度の現状について（福祉部）・・・調査終了

ア 調査結果

- ・ こども誰でも通園制度について、現在の対象施設である「くるみ幼稚園」で対象人数の差や数字の精査が必要であると指摘された。
- ・ 保育士不足や施設スペースの確保が課題であり、現状では民間施設が制度を受け入れられない状況についても共有された。
- ・ こども誰でも通園制度の実施には、保育士の増員や既存スペースの分離が必要であり、施設側の負担が大きいことが議論された。

- ・ 本制度は今年度から本格始動するため、現時点では調査事業を一旦終了とし、数ヶ月後の状況を報告事項として確認していく。

(3) 有害鳥獣対策事業についてーヒグマ被害防止対策及び地域おこし協力隊員の現状ー（保健生活部）・・・調査終了

ア 調査結果

- ・ 風連・奥行周辺の特定の場所がヒグマの通り道となっており、1箇所でも18頭（3年間）が捕獲された実績が話題に上がった。
- ・ 囲い罠の仕組みについて、鹿の死骸を餌として使い、旧来の方式で閉まる方式で、野犬の檻の戸は、遠隔操作する最新方式であるなど、委員会終了後に担当者から聞いた話が出された。
- ・ 根室方面へのヒグマの流入を別海町付近で遮断できていることが、根室市の被害減少に寄与している可能性が示唆された。
- ・ 担当職員の知識が豊富で、広範な質問に対して的確に回答している点が評価された。
- ・ 昨年の秋鮭漁において、定置網に入った数少ない鮭を、トドやアザラシが食い荒らす被害が出ている。海獣対策についても対応できないかの意見が出された。
- ・ 海獣対策では、羅臼町や標津町ではロシアとの条約により捕獲頭数に制限がある様である。
- ・ トドやアザラシの駆除には通常の猟銃免許とは別の許可や資格が必要である可能性があり、「猟師の間でもハードルが高いのではないか」の意見が出された。
- ・ 7月に採用されたガバメントハンターが10月に退職した件について、町側と本人側の希望条件にミスマッチがあったことが課題として挙げられた。
- ・ 採用時の面接がオンライン（テレビ電話）主体であったため、実際の職務内容や現場の状況を十分に伝えきれていなかった可能性があるのではないかな等の意見が出された。
- ・ ガバメントハンターは、雇用型と委託型のどちらが望ましいか、また既存の猟友会との線引きをどうすべきかについて意見が出された。
- ・ 農業被害調査のための補助金（中山間地域等直接支払制度など）で購入したドローンについて、ヒグマだけでなく野犬の調査にも活用可能であることが確認された。
- ・ 野犬の群れは、人間や車を追いかけるなど凶暴化している。犬は、追いかけてくるのがよくある。
- ・ ドローンの運用規定（定期的な巡回か、目撃後の出動か）については、今後の試験運用の実績を踏まえて、報告をしてもらう。

7 その他

(1) その他報告事項

ア 令和7年度国民健康保険特別会計決算見込みについて（保健生活部）

- ・ 特になし

イ 別海病院の運営について（別海病院）

- ・ 病院の赤字額が実質的に年間12億から15億程度に膨らんでいる。その主な原因が出張医への依存による人件費増と内科医の減が原因であると推測された。
- ・ 3月末に内科医が1名から1名に減少した。当初3人体制で策定した「経営強化プラン」が、4月から、早々に変更が生じた。日々の事務や人事異動等もあり、強化プランの見直しが進んでいないのではないかの意見が出された。

- ・ リハビリテーションの延べ人数が、令和6年度に比べ、約1,000人減少している。これは、中標津町民が別海病院で手術を受けた後、リハビリは地元の中標津で行うケースが増えていることが要因の一つとして挙げられた。

ウ 補正予算関連（教育委員会）

- ・ 体育館の暖房設備改修について、ステージ側の吹き出し口が経年劣化により交換が必要な状況であることが報告されたが、「大規模改修で修理対象外なのか改修後、何年経過しているのか」等の意見が出された。
- ・ 改修の日程については当初、土日の案もあったが、利用の妨げにならないよう平日に実施し、1週間程度で完了させる予定と委員会後に報告された意見が出された。
- ・ 資材の流通が滞っているため、現時点では具体的な着工見通しは立っていないことが共有された。

(2) 閉会中の調査事項について（9月まで）

ア 教育委員会

- ・ 総合スポーツセンター施設及び社会体育施設の現状と課題について
- ・ 特別支援教育の状況について
- ・ 小中一貫教育について

イ 保健生活部

- ・ ごみ処理場及びし尿処理場について
- ・ こども家庭センターの現状と課題について

ウ 福祉部

- ・ 介護施設の人材確保に係る現状と課題について
- ・ 障がい児通所支援利用者負担額助成事業について

エ 町立別海病院

- ・ 尾岱沼・西春別駅前診療所の現状について
- ・ 医療体制の充実について

(3) その他

- ・ 7月23日の調査は、保健生活部の「ごみ処理場及びし尿処理場について」。現地視察のため、他の所管は調査なし。
- ・ 今後の調査内容については、最終的に委員長、副委員長に一任する。